

平成 26 年度

学校法人爽青会

専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー

【自己点検・自己評価、学校関係者評価報告書】

平成 27 年 6 月

学校法人爽青会

専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー

自己点検・自己評価委員会

学校関係者評価委員会

1 本校の概況

1. 設置者 学校法人 爽青会 (理事長 中野勘次郎)
2. 学校名 専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー
3. 校長名 中野勘次郎
4. 認可 平成21年3月25日
5. 開校 平成21年4月1日
6. 所在地 〒430-0943 静岡県浜松市中区北田町134-38
(TEL) 053-455-2550
7. 課程 文化・教養専門課程
8. 学校の沿革
 - 平成7年3月 専修学校制度に基づき、専修学校の認可を受ける
 - 平成7年4月 専門学校ルネサンス・アカデミー オブ デザイン開設
 - 平成17年4月 専門学校ルネサンス アカデミーに校名変更
総合デザイン学部・動物関係学部を開設
 - 平成20年3月 学校法人爽青会 認可
 - 平成21年4月 専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 独立開校
 - 平成26年3月 設置4学科で職業実践専門課程認定
 - 平成27年4月 動物看護・理学療法科で3年制課程開始
 - 平成28年4月 ペットエステ・トリミング科3年制新設予定
9. 校訓
Every dog has his day. (みんな輝くときが来る)
10. 教育目標
日本人ならではの徳性・人への配慮を最優先し、日本流・環境保全を世界に問う
11. 設置学科 (平成27年度～)
 - 動物看護・理学療法科 (昼3年 男女 定員40名)
 - ペットエステ・トリミング科 (昼2年 男女 定員40名)
 - ドッグトレーニング・ウェルネス科 (昼2年 男女 定員40名)
 - 動物海洋飼育・アクアリウム科 (昼2年 男女 定員40名)
 - マスター科 (昼1年 男女 定員5名)
12. 学生数 (平成26年5月1日現在) 233名
13. 教職員数 (平成26年5月1日現在) 51名
14. 学校建物面積 1860㎡

2 自己点検・自己評価委員会

1) 委員名簿

1. 学校長 中野勘次郎 (委員長)
2. 事務局長 藤原研一
3. 事務局 中野良太
4. 事務局 早房陽
5. 教務部 内山明
6. 教務部 稲葉梨紗
7. 教務部 長瀬加津也

2) 自己点検・自己評価制作の流れおよび委員会開催記録

- 平成27年1月12日 制作方針に関する担当者会議
- 平成27年1月16日 制作方針決定
- 平成27年3月5日 終業式にて平成26年度教育内容の全てが完了
- 平成27年4月13日 自己点検・評価委員会 第1回制作会議
- 平成27年4月16日 自己点検・評価委員会 第2回制作会議
- 平成27年5月9日 設置者への報告
- 平成27年5月21日 ホームページにて外部への公開

3 学校関係者評価委員会

1) 委員名簿

1. 阿部 徹 元静岡県教育長
2. 鈴木 かおる 株式会社浜松ビジネススクール 代表
3. 安武 伸朗 UX (User Experience) Shizuoka 代表
4. 原 大二郎 公益社団法人日本動物病院協会 副会長

2) 開催日・場所

- 平成27年6月10日 専門学校ルネサンス・デザイン アカデミー301教室にて開催

4 評価一覧

	評価項目 《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》	自己点検 自己評価	学校関係 者評価
1 教育理念・目標	①教育理念並びに教育目標が明確に示され、定期的に見直されているか	3	4
	②教育目標は卒業時の到達目標が読みとれるものになっているか	3	3
	③教育理念並びに教育目標が教職員・学生に浸透しているか	3	3
2 教育活動	①カリキュラムは教育目標が反映されているか	3	3
	②定期的なカリキュラムの見直しがなされているか	4	4
	③テキストや教材は適切なものを選定しているか	3	3
	④シラバスが作成され学生に配布されているか	4	4
	⑤授業の点検・評価が適切に実施されているか	3	3
	⑥資格試験の合格率および資格試験不合格者の対策はなされているか	3	3
	⑦評価は適切な方法で行われているか	4	4
	⑧進級、卒業の判定審査は適切に実施されているか	4	4
3 学生受入れ	①学生募集のための広報資料の表現・内容並びに広報活動の方法・時期、入学案内の内容および募集要項の内容は適切か	3	3
	②学校説明会、体験入学の時期、内容は適切か	4	4
	③入学者選抜の時期、方針、方法は適切か	4	4
	④志願者状況、定員充足率はどうか	3	3
	⑤中途退学の理由・実状を適切に把握しているか	4	4
4 教職員組織	①資格・要件を備えた教員を確保しているか	3	3
	②専任教員1人あたりの担当科目時間数は適切か	4	4
	③教職員の業務分掌は明確になっているか	4	4
	④教職員の能力、業務内容の評価を定期的実施しているか	4	4
	⑤教職員の資質向上のための施策は適切に構築されているか	3	4
	⑥教職員は業務が滞りなく遂行できる人数を雇用しているか	4	4

	評価項目《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》	自己点検 自己評価	学校関係 者評価
5 施設・設備等	①講義室、実習室は学習を行うのに十分な面積を有しているか	4	4
	②講義室、実習設備は整備され適切に管理されているか	3	4
	③図書室は適切に整備されているか	4	4
	④保健室は適切に整備されているか	4	4
	⑤教育用機器備品は整備されており活用されているか	4	4
	⑥職員室、事務室の管理は適切に行われているか	4	4
6 学生生活支援	①奨学金等、経済的支援は整備されているか	4	4
	②学生相談、カウンセリングに関する体制が整備・機能しているか	4	4
	③各学校行事について、適切な事後反省を行っているか	3	3
	④防犯・防災訓練の実施等、不法侵入・災害に対する整備は万全か	3	3
	⑤進路活動に関する支援が整備され、機能しているか	4	4
	⑥新たな求人開拓の努力はしているか	4	4
7 管理・運営	①理事会、評議員会は適時適切に開催されているか	3	3
	②就業規則などの諸規程は適切に整備されているか	3	4
	③就業規則などの諸規程・学則等が定期的に見直されているか	4	4
	④組織間、各部署間の連携は適切に図られているか	2	2
	⑤消防計画、学校安全計画等は適切に整備されているか	3	3
	⑥個人情報保護法を遵守しているか	4	4
	⑦セクシャルハラスメントに対する防止・対応策が整備されているか	4	4
	⑧財務分析比率は適切な数字になっているか	4	4
	⑨学校の財務情報を公開する適切な体制が整備されているか	4	4

4 評価の理由(ペット校)

	評価項目 《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》	自己点検・自己評価		学校関係者評価	
		評価	評価の理由	評価	コメント
1 教育理念・目標	①教育理念並びに教育目標が明確に示され、定期的に見直されているか	3	爽(爽やかに生きる)青(出藍の誉れ)の2文字と[ルネサンス]に込めた本校の基本理念を元に、行動の原点、校訓までを“不易のMission”とし、行動指針や教育目標を“流行のVision”として定め、教職員には原点確認研修資料で、学生には学生必携で提示している。同資料では実現のための具体的な方法が示されているが、実行を確認する計画は体系化、文書化されていない。	4	当校創設の熱い思いが教育理念等に表れている。現状のコメントにもあるように、学生・教職員一人一人がどのように具現化に努めたか、実行したかを評価するシステムがあるといいのではないかと。PDCAのCAを大切にしたい。教職員・学生に対して、理念・目標・指標をマトリックス表で整理するのも考えられる。評価期間を短中長に分けて行うことも必要か。 提示→教職員へ→ワークショップなど教職員自身の発案による気づきや解釈を開示するなど、新たな試みの検討が必要ではないか。 提示→学生へ→就業後の勤務状況における成果調査(インタビュー)などは考えられないか。取り組み姿勢、見直しなど積極的で誠実と常々感じている。
	②教育目標は卒業時の到達目標が読みとれるものになっているか	3	教育目標は卒業時の到達目標を示しており、自活納得できる就職を達成するため「人間力」と「専門力」をバランスよく高めることを目標としている。「人間力」の到達目標は学生必携に、「専門力」の到達目標はRAP運営企画書と卒業認定ライセンス規定にて明示しており、卒業ライセンス試験取得が卒業要件の1つとなっている。しかし、現状として1年生には卒業ライセンス規定は配布されていないため、卒業時の専門力の到達目標を読み取ることができない。	3	①③に関しては学校側が主体で働きかける内容だが、②に関しては熱き志で入学している学生側がゴール設定し、行動計画・見直しをし、それを支援するのが学校の役割である。早めに課題取り組みに着手して頂きたい。
	③教育理念並びに教育目標が教職員・学生に浸透しているか	3	教育理念並びに教育目標は、学生・保護者には学生必携や入学時オリエンテーションで解説。関連業界には「学校案内」「学校パンフレット」を配布、必要に応じて説明している。教職員に対する浸透度は原点確認研修にて確認。学生は、一部の学生のみではあるが、修了研究や卒業研究発表にて浸透度の確認に留まっている。	3	「浸透」を中長期的にとらえる視点も大切なように感じる。教職員が、それぞれの授業に言葉や指導で具体的に実現できる仕掛けが今後は大切か。同窓会に多数参加する実績だけでも十分かと感じた次第。 数字評価がむずかしい項目である。

評価項目 《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》	自己点検・自己評価		学校関係者評価		
	評価	評価の理由	評価	コメント	
2 教育活動	①カリキュラムは教育目標が反映されているか	3	教育課程を編成する為の学内における委員会組織は無く、学科内で検討し、学校長の承認を経て実働に至っている。その過程における議事録等は存在していない。しかし、職業実践教育の視点から適切な授業が運営されるよう、教育課程の編成においては、教育課程編成委員会を実施し、外部の教育課程編成委員の意見を参考に、授業内容や授業形態を選択し、編成している。専門科目は勿論、卒業後の社会人教育として一般科目も重要視している。修了に必要な時間数は、学生必携に明記している。	3	資格系の学科と文化系の学科の違いがあるが、教育目標をカリキュラムに具体化する場合、個々の授業の関連性や相対的な位置づけが明示されることで、反映の自己評価もより明快になるように感じる。
	②定期的なカリキュラムの見直しがなされているか	4	教育理念並びに教育目標や、教育課程編成委員会での検討を基に、年1回教育課程の見直しと改定を行っている。また、年度途中であっても見直しが必要な場合については、学校長の承認のもとに変更可能な体制をとっている。	4	企業はチームで連携して働くことのできる人材を求めている。
	③テキストや教材は適切なものを選定しているか	3	テキスト選定には、教育課程編成委員の意見や、講師会における担当非常勤講師との打ち合わせを経て決定している。但し、相見積もりを取るなど、コスト管理に改善の余地がある。	3	コスト意識はもっと取り組む必要がある。必要・不必要の判断力も高めてほしい。
	④シラバスが作成され学生に配布されているか	4	全ての授業においてシラバスを作成し、学生には、授業初回に印刷物を配布し、教職員においてはデータで情報共有している。	4	
	⑤授業の点検・評価が適切に実施されているか	3	前期末、後期末の年2回授業アンケートを実施し、授業の点検・評価を行っている。講師会を通して、教員へのフィードバックをし、授業改善に努めている。関連業界との協力は、教育課程編成委員会に授業アンケートを提出しているのみにとどまる。	3	外部の教育課程編成委員による授業参観とそのフィードバックは今後実施してほしい。教員相互の授業評価の機会が必要ではないか。授業評価に関する研修もあり得る。就職先やインターン先での評価を高めて、ヤル気・自信を持たせるため関連業界からの評価必要。
	⑥資格試験の合格率および資格試験不合格者の対策はなされているか	3	資格試験前には通常授業とは別に対策授業を実施し、合格率の維持に努めている。特に、一定基準に到達しない学生については、補講を実施して試験に臨んでいる。講師会において、合格率の全国平均と比較した、対策授業の効果について検証を行い、実施回数や内容を精査している。任意取得試験や、卒業後の不合格者に対する指導は、現状実施されていない。	3	
	⑦評価は適切な方法で行われているか	4	学生には学生必携において成績評価の基準を明示している。講師は成績評価の基準を適切に運営する為、年二回の講師会を実施し、客観性と統一性を確保している。	4	
	⑧進級、卒業の判定審査は適切に実施されているか	4	学生には学生必携において成績評価の基準を明示している。講師は成績評価の基準を適切に運営する為、年二回の講師会を実施し、進級、卒業に当たっては、判定会議の実施により、客観性・統一性を確保している。	4	

評価項目 《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》	自己点検・自己評価		学校関係者評価		
	評価	評価の理由	評価	コメント	
3 学生受入れ	①学生募集のための広報資料の表現・内容並びに広報活動の方法・時期、入学案内の内容および募集要項の内容は適切か	3	学生募集のために、3月末に学校案内パンフレット、募集要項、就職内定速報を作成し、入学希望者および高等学校等に配布している。また今年度は「自立力のススメ」と称した保護者向け学校案内を作成、配布することで、保護者への厳選した情報提供を開始した。また募集活動全般において、各種ガイドラインに準拠した活動を行っている。 担当者の説明や広報物については、事前研修やリハーサル、複数による内容校正により提供情報のチェックを進めているが、一部事前確認が行き届かないことがある。	3	他校の学校評価においては、誇大広告が問題として多かった。(説明や資料の中で)実施すると云った授業が一度しかなかった等。
	②学校説明会、体験入学の時期、内容は適切か	4	入学前々年の8月から前年の9月まで体験授業を合計10回開催した。また保護者説明会も同時開催し、保護者の理解同意促進に努めた。結果として前年以上の来校者数と前年以上の出願数となり、概ね学校の魅力を適切に伝えられた。	4	
	③入学者選抜の時期、方針、方法は適切か	4	AO入試と推薦入試、一般入試の3つの入試方法で志願者の多様性に対応している。またAO入試と推薦・一般入試の入学者配分に配慮し、AO入試だけで入試が終わらない体制としている。 入学選考は担当者資料を作成し選考基準等を文書化するとともに、合否判定会議を開催し入学選考の公平性に努めている。	4	特には問題ない。 どのような割合であっても不合格となる人がいる入試を行っていることは卒業生の質確保につながる良い取り組み。専門学校としての地位を築くことにつながる。
	⑤志願者状況、定員充足率はどうか	3	資料請求数、体験授業来校数等、各種指標を整理し、月ごとイベント毎に目標設定および計画達成の進捗を管理している。入学者数は予測数値に対し、やや少ない数となった。学科別には入学者が増加した学科とやや減少した学科があったが、総学生数が大幅に減少する事態には至っていない。	3	諸事情により「就職より卒業を目標」とする学生に関しては、保護者との共通認識が重要になる。
	⑥中途退学の理由・実状を適切に把握しているか	4	中途退学の理由・実情は退学経緯報告書や月次クラス運営報告書にて把握、管理されている。また退学抑止のために担任、副担任、学科長、学年主任、キャリアカウンセラーにより、学内の連携体制が構築されている。さらに外部にもプロのカウンセラーによる相談室を開設し、いつでも利用できる体制を整えている。	4	学生、保護者の立場に立ち積極的に取り組んでいる。

評価項目 《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》	自己点検・自己評価		学校関係者評価		
	評価	評価の理由	評価	コメント	
4 教職員組織	①資格・要件を備えた教員を確保しているか	3	学校方針として教員を専任・兼任含め、適正に確保することが重要と考えている。法人ホームページ(求人情報)に常勤講師応募資格を明記し公開しているが、すべての「授業科目」において担当するための能力・資質を明確にしているわけではない。しかし、獣医師のみが扱うことのできる獣医療分野の授業科目においては、有資格者であることを確認の上、授業担当としている。	3	学校の理念を共有できる資格・人間性・要件を備えた人財確保ができています。
	②専任教員1人あたりの担当科目時間数は適切か	4	専任教員一人当たりの授業時間は全授業時間数の60%前後とし、業務過多とならないよう配慮している。また、学生数に対する授業運営効率も適切と判断した。	4	退職など急な対応に誠実さを感じ、学生たちへの影響は最小限にしている。
	③教職員の業務分掌は明確になっているか	4	教職員の業務分掌一覧を作成し、業務分掌・責任体制を明確化することが重要であり、全教職員に配布している。また、講師会や教育課程編成委員会を活用し、教員間の連絡・協力体制の構築、教育方法改善を図っている。	4	
	④教職員の能力、業務内容の評価を定期的実施しているか	4	教職員の能力、業務内容の評価は「就業規則」により明示されており、年2回の職員面談を定期的に評価している。	4	自己啓発意欲に富む教員の自発的な学習を支援する仕組みがあれば、評価される。
	⑤教職員の資質向上のための施策は適切に構築されているか	3	教職員の資質向上のための施策として、学内の教員研修(新人ビジネス研修+原点確認研修などOJT)や、静岡県職業教育振興会による新任教員研修に参加させ資質向上を図っている。また、関連団体が主催するセミナーへも積極的に参加することを奨励している。	4	充実した新任教員研修の実施など評価したい。高校への広報も兼ねて、高校教員の授業参観を通して意見等をもらったらどうか。他教育機関との連携(相互評価)や私学連盟の諸団体との協力など、地域性、専門性に特化しない、FD向上の施策の重要性を感じる。自己啓発意欲に富む教員の自発的な学習を支援する仕組みがあれば、評価される。学校も教職員側にも意欲があり、資質向上の取り組みに積極的である。
	⑥教職員は業務が滞りなく遂行できる人数を雇用しているか	4	教職員の業務が滞りなく遂行できるような人数が雇用されている。2014年度は4-②にあるように、教員一人当たりの担当授業は全授業数の60%となっており、各科3人体制で2学年を担当しているため、滞りない業務運営であった。給与・昇任・昇給に関する規定も、常に閲覧できる状態となっており、適切に運営されている。	4	教員がが夜遅くまで仕事をしているように思う(動物の世話などもあるためなのか…)。負担になっていないようなら良い。今後動物看護師の業務範囲が必要になるだろう。

	評価項目 《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》	自己点検・自己評価		学校関係者評価	
		評価	評価の理由	評価	コメント
5 施設・設備等	①講義室、実習室は学習を行うのに十分な面積を有しているか	4	講義室・実習室共に、設置基準・関係法令を適合し、問題なく授業運営を行っている。毎日の清掃において、各教室の清掃当番を実施している。	4	適切な清掃チェック項目は②の方がいいか。伝統的な清掃活動は是非今後も継続してほしい。大切な教育活動である。
	②講義室、実習設備は整備され適切に管理されているか	3	学習支援のための施設は整備され、毎日の清掃と年4回の定期的な大掃除を通して点検・補修を実施している。これまでは麻酔器やレントゲン機器などの看護系設備の定期点検を、3年程度ごとに実施していたが、この点検頻度が適切かどうかは検討を要する。	4	当校における動物看護師の機材は病院と違い使用頻度が低い為、3年ほどで良い。適切。
	③図書室は適切に整備されているか	4	各分野に応じた専門図書・定期購読誌などの図書が置かれ、定期的な点検・補修が実施されている。	4	
	④保健室は適切に整備されているか	4	定期的な健康診断を実施し、再健診が必要な学生については、受診指導を行っている。また学内において、インフルエンザ流行時の対策指導や未成年者の飲酒・喫煙の防止、危険ドラッグに対する禁止指導を行っている。また学外相談室を設置し、心身の健康相談にも対応している。	4	カウンセリングチケットは保護者も活用している。
	⑤教育用機器備品は整備されており活用されているか	4	毎日の清掃と年4回の定期的な大掃除を通して、教育用機器備品の日常点検、定期点検、補修を実施している。	4	
	⑥職員室、事務室の管理は適切に行われているか	4	職員による毎日の清掃を実施し、職員室・事務室の管理を適切に行っている。	4	清掃管理は学校の売り、特色の一つであり、実行習慣が高い。

評価項目 《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》	自己点検・自己評価		学校関係者評価		
	評価	評価の理由	評価	コメント	
6 学生生活支援	①奨学金等、経済的支援は整備されているか	4	特待生制度、通学支援制度、奨学生制度等により奨学金制度を整備しており、学費は3分割納入制度を用意し、家庭の経済事情に対応している。また入学前の保護者説明会や入学後の説明会で優遇制度関係資料の配布を十分行っており、相談への対応や実績の把握にも遺漏はない。大規模災害発生時等危急の際の支援制度は状況に応じて対応しており、制度としての整備はなされていない。	4	多面的、現実的な施策がある。保護者、学生の立場に立って取り組んでいる。
	②学生相談、カウンセリングに関する体制が整備・機能しているか	4	学生相談は一般的には担任、就職相談は就職担当が対応できる体制をとっており、担任の他にさらに学科責任者や教務課長、事務局長等が相談内容に応じ対応している。また学生相談室を設置し、学内では話しにくい相談内容については、専門のカウンセラーが対応している。学生相談室の周知については、入学後の説明会やオリエンテーション、保護者会等で周知案内している。	4	引き受ける学生の選別も必要である。より質の高い授業を実施するために公平に関わるクラス運営が重要。
	③各学校行事について、適切な事後反省を行っているか	3	国内研修や海外授業、スポーツ大会等学生がかかわる学校行事についてはそのほとんどでアンケートを実施し、意見を収集している。また教職員については反省会等を即日実施またはグループウェアを活用して改善点等を収集し、次回へ活かしている。	3	反省会等の実施が即日、次に活かされている。
	④防犯・防災訓練の実施等、不法侵入・災害に対する整備は万全か	3	登下校時の安全教育や監視カメラによる入館者チェックなどで、防犯体制を強化している。また学内の動物の安全確認に関して、同行避難が可能な防災備品を完備し、有事の際に備えている。動物医療系の薬品については認定動物看護師の教員を中心に施錠等適切に管理している。	3	「命を守る」という視点から県でも様々な取組・対策がなされているので、参考にされるのもいい。職員の担当制が(研修含め)必要な印象を受けた。
	⑤進路活動に関する支援が整備され、機能しているか	4	月別、学科毎の目標設定を行い、就職指導を実施している。月に2～3回就職部会を開催し個人毎の活動内容を把握、共有する体制が出来ている。また、外部企業をお呼びして、ビジネスマナーにおけるスーツ・メイクセミナー等も実施。就職率のデータは資料にて管理されている。就職実務を中心に就職活動の履歴書の書き方等、基本的な事を学び、企業事業見学や合同企業ガイダンス等、就職説明会を実施し、就職内定に繋げている。個別相談でのヒヤリングや面接練習を実施、個人個人の弱点を克服させる様、指導体制を取っている。	4	高いレベルで取り組んでいる。インターンシップでは学校のやってほしいことをリクエストし、それをやらせてくれる企業を選んで行くといい。5年以上働いている卒業生のいる企業へいくと夢がふくらむのでは。
	⑥新たな求人開拓の努力はしているか	4	学校案内を各企業へ送付し、求人票の依頼を行うとともに、就職部門だけでなく、担任も企業訪問を行い、企業からの要望を把握することで、適切な就職と早期離職を防ぐ指導を実施している。	4	きめ細かく精力的な求人開拓を今後も期待したい。高いレベルで取り組んでいる。

評価項目 《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》	自己点検・自己評価		学校関係者評価	
	評価	評価の理由	評価	コメント
①理事会、評議員会は適時適切に開催されているか	3	H26年度は3回の理事会評議員会を開催した。定足数を充たし、適切な手続きで開催している。議事録に関しては毎回作成し保管をしている。議事録に関し一部作成上の不備があり修正した。	3	指導を持ち取り組んでいる様子が伺える。
②就業規則などの諸規程は適切に整備されているか	3	諸規則、規程等は完備している。法令順守教育に関しては、教職員は新入社員研修時または適宜に、学生に関しては学生必携やその他必要資料を用いて教育を実施している。コンプライアンス窓口に関しては、担任等が常に窓口になっているが、仕組みとして文書化されてはいない。	4	事実上、4で良いように思う。
③就業規則などの諸規程・学則等が定期的に見直されているか	4	就業規則等の労働関係諸規定は法改正等必要な時期に見直しをし、教職員に説明の上で適正な手続きで改正している。また人事評価に関するマニュアルについては、教職員組織や学科編成の状況等に合わせて常に見直しをし周知している。また学則は主に学生募集開始時と教育課程の変更時の2回で変更届を提出し、適切に運用している。	4	適正改正が実施されているよう伺える。
④組織間、各部署間の連携は適切に図られているか	2	学校運営に関する組織を作成している。また会議等の議事録は作成し、主にグループウェアで共有している。しかし会議については報告会議がほとんどであり、経営会議以外では決定権限や委員構成等の規定がなく、その都度必要なメンバーが招集され、議事の決定がないまま会議や委員会が運営されているケースがある。	2	「課題と対策」の内容を実行されたい。 個人一組織における参画意識を上げていくための、業務を離れた相互理解、向上心を持つための研修などもあり得るかと感じる。教職員のアクティブラーニングを推進するための(管理ではない)風土や文化を作る難しさがあると思いますが、次のステップに行くためには、30代、40代の方々のエネルギーをどう共有するかという連携が必要か。 会議改善はどこにおいても最も重要だが、工夫されていると伺える。
⑤消防計画、学校安全計画等は適切に整備されているか	3	消防計画、地震防災応急計画及び学校安全計画等は文書で規定し、整備している。また耐震化や消防説にの保守点検を法令通り実施し、有事の際に備えている。8月末には全学生合同の防災訓練避難訓練を実施するとともに、視聴覚教材を用いて地震防災教育を行っている。備品等の転倒防止策を強化する必要がある。	3	「命を守る」という視点から県でも様々な取組・対策がなされているので、参考にされるのもいい。年間予定に組み込まれればより良いと思う。
⑥個人情報保護法を遵守しているか	4	個人情報の保護に関しては、教員は主に学生個人情報、事務局は志願者個人情報を取扱い、それぞれ文書およびデータの双方において適切に管理している。またwebサイトに関しては個人情報に類する情報をUPしないことおよび個人情報が流出する恐れのある運用をしないことを基本方針とし、問題は発生していない。	4	今日的な大きな課題であり、不断に効果的取組を情報収集して、活用してほしい。 意識は非常に高いと思う。
⑦セクシャルハラスメントに対する防止・対応策が整備されているか	4	学生必携内でセクシャルハラスメント専用窓口を教職員並びに学生に提示している。またこれまでセクシャルハラスメントに該当する事案はない。現状、対応マニュアルはないため、事案発生時にはケースバイケースの対応が求められる。	4	今日的な大きな課題であり、不断に効果的取組を情報収集して、活用してほしい。 整備されており、また教職員の意識も高いと思う。
⑧財務分析比率は適切な数字になっているか	4	現在まで健全な経営を継続中である。毎月月末に幹部会議を開催し、応募者数・入学者数及び定員充足率の推移を共有している。毎月稼働6日目の月次決算において財務分析(収支バランス、コスト管理含む)を実施している。毎年3月、5月の理事会評議員会の際に設備投資計画が適切か協議している。	4	
⑨学校の財務情報を公開する適切な体制が整備されているか	4	平成25年度より財務状況をホームページに公開している。特に財務状況は外部から学校の実態を正しく理解されるよう、法人財務ではなく学校別の財務状況を作成し、公開している。また財務帳票等は会計士の指導の下、適切に作成管理している。	4	